



よきかな若人

2019-11-15

☆全国学力・学習状況調査からみる本校3学年生徒の傾向と改善の方向について☆

本年4月18日に3学年を対象に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校の傾向と改善の方向についてお知らせします。

1 全体を通して

国語・数学・英語ともに、県・全国平均正答率を上回る結果となり、特に、数学は正答率が高い傾向が見られました。無解答率は概ね県・全国平均より低い傾向が見られ、問題に対して最後まで粘り強く向き合う意欲がうかがえます。以下、教科・領域についての傾向について記します。

2 国語

(1) 話すこと・聞くこと

◇話し合いの話題や方向をそろえて自分の考えをもつことができます。

◆相手に分かりやすく伝わる表現についての理解に係る問題の正答率がやや低い傾向にあります。グランドデザインにも記されている「人に分かるように自分の言葉で話す」場面を授業でも継続して取り入れていきます。

(2) 書くこと

◇伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができます。

◆「話すこと・聞くこと」同様、相手に分かりやすく伝わる表現についての理解に係る問題の正答率がやや低い傾向にあります。

(3) 読むこと

◇文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つことができます。

(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

◇話の一部を省いた表現について、適切な活用の仕方について理解できています。

3 数学

(1) 数と式

◇数の集合と四則計算の可能性について理解、数学的な事柄が成り立つ理由についての説明、簡単な連立二元一次方程式を解くことができます。

◆総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することが苦手な傾向にあります。道筋を立てて、事柄が成り立つ理由を説明できるよう指導を進めます。

(2) 図形

◇図形領域の正答率は、どの問題においても県・全国平均を大きく上回っています。

(3) 関数

◇反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができます。

◇◆グラフの読み取りについての正答率は、県・全国平均は上回っているものの低い傾向にあります。与えられた情報から必要な情報を選択できるよう指導を進めます。

◇◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて、正答率が県・全国平均を大きく上回っていますが、無解答率もやや高い傾向にあります。示されている数値からその関係性を見だし、表現し考察できるよう指導を進めます。

(4) 資料の活用

◇簡単な確立を求めることや表から最頻値を読み取ることができます。

◇資料を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができます。

<裏面もご覧ください>

4 英語

(1) 聞くこと

- ◇話と話の連結による音変化、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、情報を正確に聞き取ることができています。
- ◇まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解できています。
- ◆聞いて把握した内容を捉え、適切に応じることについては、正答率が低い傾向にあります。文章の情報を正確に読み取り、自分の言葉で表現できるよう指導を進めていきます。

(2) 話すこと (参考値)

- ◇与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容で話すことができています。
 - ◆以下の内容で、全国の平均正答率を下回っています。言語や文化についての知識・理解、外国語表現能力の育成を視野に入れた授業を充実させていきます。
 - ・月日に関する基本的な表現を確認して、応答すること
 - ・基本的な文法を理解して、応答すること
 - ・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答すること
 - ・聞いて把握した内容について、やりとりすること
- なお、この「話すこと」については、本校ではトラブルなく実施しましたが、機材の不備や当日の不具合がにより実施できない学校が多数あり、あくまでも参考値としての結果になります。

(3) 読むこと

- ◇日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ったり、まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解したりすることができています。
- ◆書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができている反面、無解答率はやや高い傾向にあります。自分の考えを文章で伝えることができるよう指導を進めていきます。

(4) 書くこと

- ◇文の中で適切に接続詞を用いることができています。
- ◇一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができています。
- ◆一般動詞の1人称複数過去時制の疑問文を正確に書くことについては、正答率が低い傾向にあります。(県・全国平均ともに)。文字や符号を識別したり、語と語のつながりなどに注意して文章を書くことができるように指導を進めていきます。
- ◆与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く力について課題がみられました。理由を明らかにしながら、自分の考えを書くことができるよう指導を進めていきます。

5 生徒質問紙からの傾向

- ◇「自己肯定感」「規範意識」「いじめを許さない意識」等の高まりが表れています。
- ◇「朝食の有無」や「就寝起床」等の基本的な生活習慣は全国平均より優れています。
- ◆家庭学習については、自ら計画を立てて勉強に取り組んでいるが、一日あたりの学習時間が県・全国平均を下回っています。
- ◇放課後や週末に家族と過ごす生徒の割合が高く、学校での出来事も話題になっています。
- ◇◆授業における学習活動では、話し合い活動が充実しており、課題の解決に向けて主体的に取り組む生徒が多くいる一方、自分の考えを伝えるために工夫して発表する力に課題を感じている生徒も多くいます。経験を積み重ねながら力を伸ばしていく必要が感じられます。
- ◆授業におけるICT機器の日常的な利用については、県・全国平均を下回っています。時間や場所の制約なく、日々の授業での活用を望んでいることがアンケート結果から見えています。

調査結果の分析に基づき本校の傾向を明らかにした上で、日々の教育活動や今後の具体的な取り組みに役立てたいと考えています。また、ご家庭におかれましても、生活習慣や学習環境、家庭学習のあり方等について更なる改善に向けて、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。